

「学生の授業評価」についての教員アンケート
集計結果報告（2005年度 後期分）

2006年 10月

実践女子短期大学・自己評価委員会

はじめに

自己評価委員会委員長 小林 修

2005年度後期分の学生による授業評価結果に関する「教員アンケート報告書」がまとまりましたので、ここにお届け致します。これは教員アンケート報告書としては四回目となります。本年は御承知のように認証機関（短期大学基準協会）による第三者評価を受ける年に当たり、自己評価委員会の活動も昨年度より多忙の度をいっそう増して参りました。そうした中で今回の報告書は十月下旬の訪問調査を視野に入れて、委員諸氏の努力の結果、従来の発行時期よりかなり早く刊行することが出来ました。編集上の改良も徐々に加えて来ております。今回も副委員長を中心に全体的な分析をまとめてありますが、今回は前回とは少し角度を変えて、自由意見を中心に分析し問題点や課題を五項目に分けてわかりやすく提示してあります。また、全体の集計結果の報告もデータの集計表ばかりでなく、円グラフの中にもパーセンテージの数値を明記するなど、見やすさにも心掛けて改良を加えました。これにより円グラフも前号に比して一段とわかりやすくなったものと思います。

自由意見の分析および問題点と課題については本文を御覧いただくこととして、はじめに全体の集計結果について、前号（前期）と比較して気が付いたことなどを記しておきたいと思ひます。

まず「授業の進め方について」の項目で最も評価の高かったのは、前回と同様「教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすいものでしたか」が一番高く、25%から31%に上昇している。また最も評価の低かったのも前回と同じ「学生の理解度にあわせて、授業は進められましたか」であり、これは40%から30%に減少している。とすれば、この2項目に関しては、前期に比して教員による改善への努力が評価されたと見ることが出来るでしょう。

また「授業の内容について」の評価は、高い方も低い方も学生の評価は前期と変わらず、高い方は「新しい知識や技術を得ることができた」が63%でほぼ同じだが、低い方は「授業内容のレベルと量」で、レベルは46%、量は41%と前期に比して共に1%の変化しか見られない。やはりレベルと量の問題が相変わらず私たちにとって困難な課題であることを示している。因みに、次回から教員アンケートの形式を全面的に改訂し、レベルと量に関しても、もう少しきめ細かいデータを得られるように工夫しました。

最後に教員にとっての「授業アンケートの意義」については、「とても意義があった」と「まあまあ意義があった」を合わせると、前期同様70%と高く、その意義については一定の評価を得ているものと思われる。しかし一方では学生による授業評価にマンネリ化による安易な姿勢や学生の評価資格など根本的な疑問も出されており、授業評価のあり方そのものも今後検討しなければならない課題であろう。

以上はこの「教員アンケート集計結果報告書」への導入のための「前書き」に過ぎません。この報告書を手にとってくださる教員一人一人が改めてデータと他の教員の自由記述等を見直すことによって、御自身の授業改善の参考に供して下さることを願っています。

また、この報告書が昨年発足したFD推進委員会で大いに活用されることを期待しています。

学生の授業評価に関する教員アンケートまとめ (2005年度 後期分)

1. 何がよい評価に結びついたか

授業の進め方や内容について「よい評価が得られた」と感じている教員は、その理由をさまざまに分析しているが、それらは次の5点に集約されよう。

①「分かりやすさ」の追求

学生の理解度をチェックして「聞いてよく分かる」授業にすること。それには声の使い方、話し方のスピードや用語の選択なども重要になる。

②ホットで新鮮な情報提供

初めて聞くこと、現場のホットな情報、日常との関わりのある情報など、学生が興味と関心を持ちやすい話題を出来るだけ盛り込むこと。

③資料の工夫

テキストだけでなく、毎回プリントを用意するとか（楽ではないが）、視聴覚教材を出来るだけ使うなど、資料を豊富にすること。

④学生の個別性への配慮

学生が多様なので「速度の速い学生」と「遅い学生」では課題を別にして対応したり、出来るだけ個々の学生を見据えた指導をすること。

⑤双方向コミュニケーション

質問をしたり学生の意見を聞いたり、一方的な講義にならないように努めること。授業アンケートの内容をフィードバックして活用するのもよい。

2. 悪い評価の原因は何か

他方、あまりよい評価が得られなかった反省点としては次のような点が上げられている。

- ・ 話し方の問題
- ・ 板書が少なかった
- ・ 視聴覚教材を使えなかった
- ・ パワーポイントの内容や量に問題（多すぎると逆効果）

その反面、「悪い評価」の原因を「学生のレベルにこそ問題がある」と反撃？する教員の声もかなりある。

- ・ 「難しい」と言っても専門科目である以上、当然である。
- ・ 社会人になるための訓練として、レベルの維持はどうしても必要。
- ・ 宿題やレポートが多い上、試験もするという不満があることがわかるが、最低限のものを身につけるには欠かすことが出来ない。

また、毎年それなりに工夫してやっているつもりなのに、授業評価の数字に表れないことを疑問とする意見もあった。

3. 「学生の質の低下」にどう対応するのか

学生評価の全体を見て、多くの教員が指摘しているのが、レベルの低下と意欲の不足である。全体に学生の理解度が落ち、授業計画についてこられない学生が少なからずいるという指摘が散見される。その上、「学生は自己に対しての評価は甘く、教員に対しては厳しい」。そこで教員は「学生に迎合してレベルを下げるか」それとも「分からない学生が一部にしようとも講義レベルを保つべきか」、ハムレット的心境に立たされている。しかも、学生の良質の部分は意欲も理解力も十分にあり、その質の格差が大きくなってきているので、どちらかを選べばいいというほど、ことは簡単ではない。焦点の当て方が教員にとって悩ましい問題になってきている。

4. 授業の改善点のポイントは

困難な状況の中でも、多くの教員が今後の授業改善の具体策をあげている。そのポイントは以下の通り。

- ① ゆっくり、はっきり、丁寧に説明し、毎回、分かりやすい授業が出来るように最大限努力する（くたびれるが仕方がない）。
- ② 教材の工夫を徹底してやる。
- ③ 参加させる（作業させる）授業や実習、見学を取り入れる。学生自身が課題を発見できるように取り組み、その成果物をチェックし、教員・学生間でフィードバックのある授業にする。
- ④ 個に対応した指導をする。理解できていない学生を呼びだして補講する必要もある（根気のいる仕事である）。
- ⑤ 学生に予習、復習の習慣を付けさせる努力をする。

また、授業改善のために「**学校からの支援体制が必要**」という声もあった。教材づくりの支援や授業方法についての講習会の実施などが出来ないかというものである。FD委員会の課題として真摯に受け止める必要があるだろう。

5. 今後の授業評価の方法について

まず、「学生による授業評価」そのものについての根本的な疑義がいくつか出されている。学生が教師を評価することは主客転倒であり、「学生としての立場」を見誤らせることになるのではないかという意見、意義はあっても、毎回の授業評価がマンネリ化を生み、「評価ズレ」した学生のいい加減な姿勢に反発を感じている教員も少なくない。

ただし、大方の教員は授業評価の意義を認めている。その理由は、①学生の受け止め方を数値として把握することの大切さ、②授業計画を立てる上での有効性、③ショックもあるが教員の緊張感を保つ上で有意義である、などである。

アンケートの項目については、聞き方の不備や曖昧な点を是正する提案がいろいろと出されている。特に①講義と演習では質問項目を分けるべきだ、②自由記入欄にもっといろいろ書くようにさせて学生のホンネを知りたい、③記名方式で理由なども書いてほしい、④成績の善し悪しで評価の違いが分かるように出来ないか、等の意見もあった。

これらを参考に、より明快かつ簡便なアンケートをつくることが今後の課題である。また、アンケート結果の利用の仕方、特に学生にどうフィードバックしていくかを考える必要があると思われる。
(まとめ：藺田碩哉)

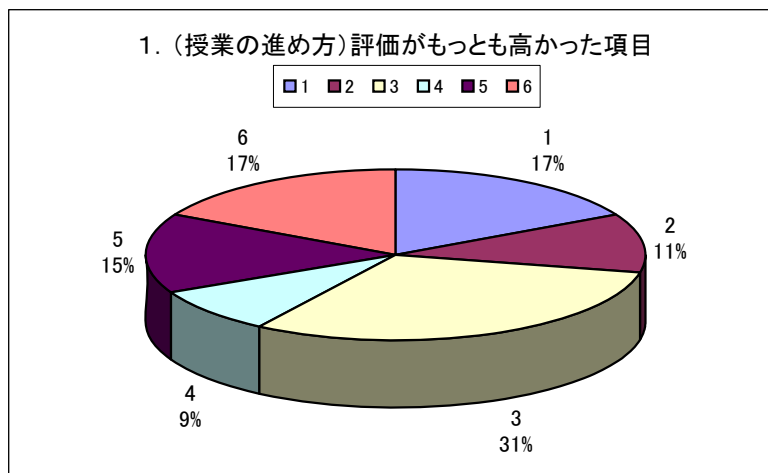
「学生による授業評価」についての教員アンケート集計結果

回答教員数66(注:同率による複数回答があるため、合計人数と必ずしも一致しません。)

1. (授業の進め方)学生の評価がもっとも高かった項目は何ですか

項目番号	1	2	3	4	5	6	計
人数(人)	14	9	25	7	12	14	81
比率(%)	17%	11%	31%	9%	15%	17%	100%

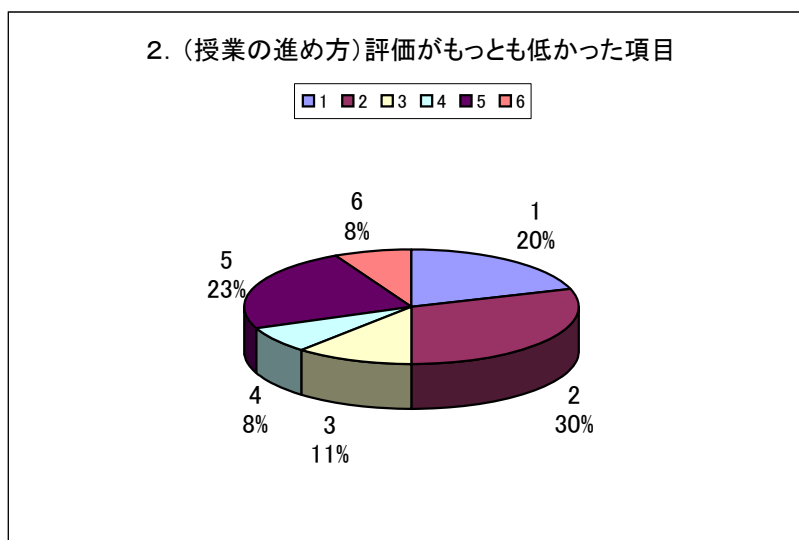
1. 講義概要などの授業計画にそって、授業は進められましたか。
2. 学生の理解度にあわせて、授業は進められましたか。
3. 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすいものでしたか。
4. 教員の授業の準備や工夫はよくされていましたか。
5. 板書、ビデオなどの視聴覚教材、配付資料などは授業の理解を助けてましたか。
6. 質問に対する教員の対応は適切でしたか。



2. (授業の進め方)学生の評価がもっとも低かった項目は何ですか

項目番号	1	2	3	4	5	6	計
人数(人)	16	24	9	6	19	6	80
比率(%)	20%	30%	11%	8%	23%	8%	100%

1. 講義概要などの授業計画にそって、授業は進められましたか。
2. 学生の理解度にあわせて、授業は進められましたか。
3. 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすいものでしたか。
4. 教員の授業の準備や工夫はよくされていましたか。
5. 板書、ビデオなどの視聴覚教材、配付資料などは授業の理解を助けてましたか。
6. 質問に対する教員の対応は適切でしたか。



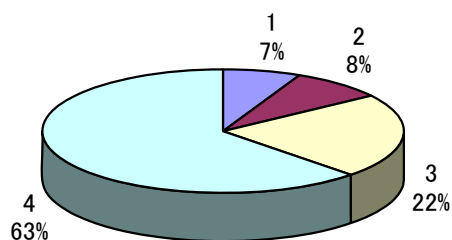
3. (授業内容で) 学生の評価が最も高かった項目は何ですか

項目番号	1	2	3	4	計
人数(人)	5	6	16	45	72
比率(%)	7%	8%	22%	63%	100%

1. 授業内容のレベルはあなたにとって適切でしたか。
2. 授業内容の量はあなたにとって適切でしたか。
3. この授業を受講して、あなたの興味や関心はふえましたか。
4. この授業を受講して、新しい知識あるいは技術を得ることができましたか。

3. (授業内容) 評価のもっとも高かった項目

■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4



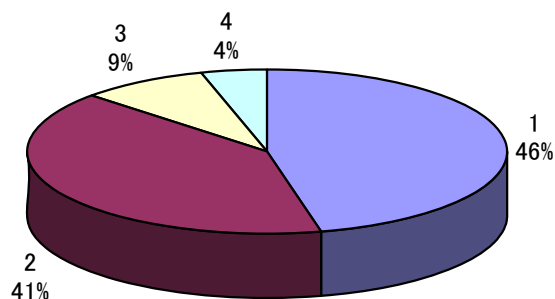
4. (授業内容で) 学生の評価が最も低かった項目は何ですか

項目番号	1	2	3	4	計
人数(人)	32	28	6	3	69
比率(%)	46%	41%	9%	4%	100%

1. 授業内容のレベルはあなたにとって適切でしたか。
2. 授業内容の量はあなたにとって適切でしたか。
3. この授業を受講して、あなたの興味や関心はふえましたか。
4. この授業を受講して、新しい知識あるいは技術を得ることができましたか。

4. (授業内容) 評価がもっとも低かった項目

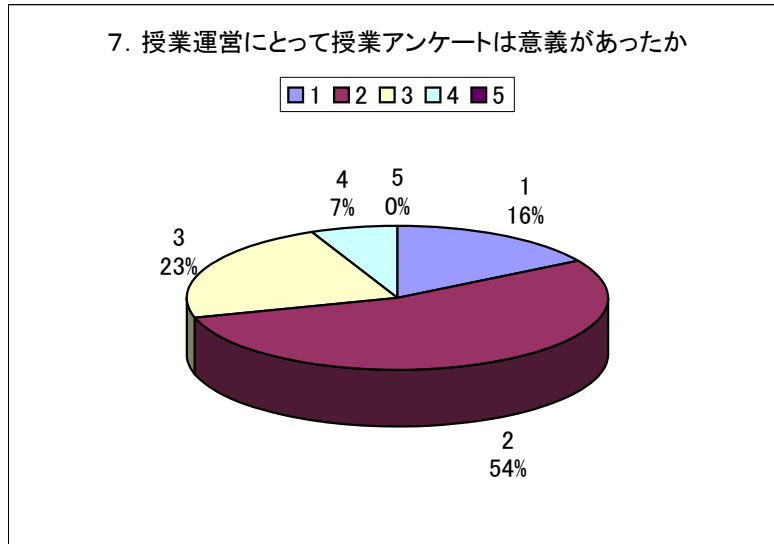
■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4



7. 「授業に関するアンケート」は、あなたの授業運営にとって授業アンケートは意義があるものでしたか。

項目番号	1	2	3	4	5	計
人数(人)	10	33	14	4	0	61
比率(%)	16%	54%	23%	7%	0%	100%

1. とても意義があった。
2. まあまあ意義があった。
3. どちらとも言えない。
4. あまり意義がなかった。
5. 全く意義がなかった。



教員アンケート自由意見のまとめ (2005年度 後期分)

1. 「教員の授業の進め方について」の中で、学生の評価がもっとも高かった項目は何ですか（1つだけ○をつけて下さい）。

1. 講義概要などの授業計画にそって、授業は進められましたか
2. 学生の理解度にあわせて、授業は進められましたか
3. 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすいものでしたか
4. 教員の授業の準備や工夫はよくされていましたか
5. 板書、ビデオなどの視聴覚教材、配付資料などは授業の理解を助けてましたか
6. 質問に対する教員の対応は適切でしたか

1-① 学生のこのような評価について、あなたはどのように考えましたか。自由にお書き下さい。

- ◎ 講義概要をあまり逸脱しないように心がけているので、それが結果として良かったのであろう。
- ◎ 技術的な指導が多岐に渡っているので特に留意している。
- ◎ 実習主体の授業だったが、学生の実力が向上していたため。
- ◎ 分かりやすく話した結果と考える。
- ◎ 興味や関心を持たせるために、テキスト以外に資料を作成していることが感じ取ってもらえ、手ごたえを覚えた。
- ◎ 進度の速い学生、遅い学生用に別々の課題を与えたことによって、理解度に応じた教育が出来て、その効果もアンケートに表れよかったと思う。
- ◎ 今後も学生の質問に対して、誠実に対応し学生の学習意欲を大切にしたいと考えた。
- ◎ 一生懸命取り組んだので、伝えたいことが伝わったのでこのような評価になったのではと思われる。
- ◎ なるべく 1 week 1 lesson に心がけました。
- ◎ 実際は2の他に1と6も同じように評価が高かった。学生達のレベルに合わせてわかりやすい授業を心がけたのが実を結んだと考えた。
- ◎ わずか6人の登録者ということで話しやすいのが理由だと思います。
- ◎ 学生も授業計画などを把握できているので評価できたのかと思う。
- ◎ 学生の資質を考慮して、さらに自分の会社の新入社員の学力を思い話し方が学生の理解につながるかと考えていることを、学生が評価したと思っている。
- ◎ 過去の授業評価でも、この項目の評価が最も高かった。今回 0.1 点上がった。昨年度までの授業評価結果の改善策として可能な限り個々の学生の指導に当たることを掲げ実行してきた。その成果と考えられる
- ◎ 前回も同じでしたが、シラバスにそって進行しただけのことです。これは単に形式的な問題で、その点は反省しますが、他の項目の評価を相対的に高めるべきであれば、この項目の評価を下げる操作は容易なのですが、それは別の意味で問題だと思います。
- ◎ いい評価をしてもらうのは嬉しいが、そんなに質問が多かったかなという疑問がある。
- ◎ 基本的に重要なことなので、良かったと思っているが、この点に日常配慮しているわけではない。
- ◎ 学生たちが授業に参加している姿勢がうかがわれて、よかったと思う。

- ◎ 私の授業では半分を演習にしており、その中で質問を受けることがありますが、私自身、ていねいに対応するよう心掛けていましたので、その点を評価されたことはうれしく思います。今後ともますます意識して一人一人に対応しようと気持ちを新たにしました。
- ◎ 1回目の講義で全体の授業計画を説明し、ほぼ計画通りの講義を行うことができた。教員の授業の取り組みについては全体的に高い評価を得た。
- ◎ 2～6が同じ評価
- ◎ それなりの工夫をした上で毎回授業にのぞんでいたことが評価されて嬉しい。
- ◎ 毎回決められた量をこなすことができたためと思われる。
- ◎ 3つが同点です。
- ◎ 適当だと思う。
- ◎ 毎回のアンケートが効果をあげていると思う。
- ◎ 毎回ほぼ同じパターンで授業を展開しているからそのように見えると思う。
- ◎ 丁寧で美しいコピー作りに努めているのが評価されたと思います。
- ◎ 常に社会に出てからの事を考えながら授業を行いました。
- ◎ 3, 4, 5, 6の評価はほぼ同じ。配布資料が多すぎるという学生が必ず1～2名いるが、多くの学生は授業に関わる資料の配付は歓迎している。
- ◎ 講義科目の内容から考えると、特定のテキストを選定しにくい科目なので、テキストを使用せず、毎回のプリントで授業を進めてきた。プリント準備は大変だが、より理解しやすく、充実したプリント作りを心掛けて来たことが、評価されたと思う。
- ◎ 出来るだけ実務的な質問が出来るような授業の進め方を心掛けたつもりであるが、学生によって比較的身近に感じる学生とそうでない学生もいたようにも思う。さらに工夫が必要と考えている。
- ◎ 授業の終わりに毎回アンケート形式で質問内容を記入させ、次回の授業で回答する方式が好評価につながった。
- ◎ 2クラスのうち1クラスは項-5が4.4、他の1クラスは項5, 6, 7が4.4、同じ内容を話してもクラスにより異なる。項目11は2クラス共4.5。
- ◎ 授業に関する新聞記事やTV放送のビデオなどで新しいかつ身近な問題を示し、学生の関心をひくことが必要かと・・・
- ◎ ビデオによる視聴覚教材はやはり効果が大きく印象に残るようだ。
- ◎ コミュニケーションの内容である為、より明確に、より分かりやすく、より効果的を目指し、即戦力のモデルになることが講師に求められていると考えます。
- ◎ マナーについて学ぶ授業だったので講師も学生の手本となるよう意識を高く持っていた。
- ◎ 初回の授業で授業スケジュール表を学生に渡し、途中変更があれば変更表を渡している。
- ◎ 専門用語を多用せず、日常用語を用いて説明して授業を進めたことがこの評価を得たと考えます。
- ◎ 学生のまなざしに助けられたと思う。
- ◎ 滑舌、スピード、ボリューム等意識して伝えていることが受け止められている。
- ◎ 4と5の設問と同点の評価。学生の興味を引き出せるように努力したい。
- ◎ 毎回資料を配布し、板書で補足したことが評価されたと思います。但し書く内容については今後も充実を図る必要があると考えています。

- ◎ この学生は、視聴覚教材が授業への興味や関心につながり、導入にも効果がある。
- ◎ （１、２、３、４が同点のため１つだけにはできませんでした）昨年度と同じまたはそれ以上に工夫しているつもりなのに、昨年度の学生の評価と違うので、具体的に、何がどういう点でこういう評価にするのか、その理由を聞きたいと思った。
- ◎ 受講生の人数が少ないという条件があるので、その上でほっとしました。
- ◎ 今回は、受講生が２人であり、２人とも「教員の授業の進め方」について満足してくれたようで、少人数のときの授業の進め方としては、今回の方法で一定の成果を上げられたと考えられる。
- ◎ これからも、もっと判りやすく、講義していきたいと思います。

２．「教員の授業の進め方について」の中で、学生の評価がもっとも低かった項目は何ですか（１つだけ○をつけて下さい）。

- １．講義概要などの授業計画にそって、授業は進められましたか
- ２．学生の理解度にあわせて、授業は進められましたか
- ３．教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすいものでしたか
- ４．教員の授業の準備や工夫はよくされていましたか
- ５．板書、ビデオなどの視聴覚教材、配付資料などは授業の理解を助けてましたか
- ６．質問に対する教員の対応は適切でしたか

２－① 学生のこのような評価について、あなたはどのように考えましたか。自由にお書き下さい。

- ◎ 自分の話し下手に原因があるのかもしれない。話し方に工夫をしてみたい。
- ◎ 質問されたことがない。
- ◎ 授業計画についてこられない学生が多い。どうしても自宅学習しなくてはならない。手の遅い学生が多いが、中間採点を効果的に使用していると考ええる。
- ◎ 学生に授業計画（実習計画）を立てさせた。
- ◎ 専門的になるとついてこられないらしい。
- ◎ 演習中心の授業では、個人の能力差が大きく出る。一学生の回答を全体に共有させるように工夫しているが、理解度にあわせることはなかなか難しい。
- ◎ 難問を出したときに、全く理解出来ない学生がいて、わかりやすい資料の配付が必要であったと痛感する。
- ◎ テキストの補足はプリントを利用しました。PCの実習なので、ほとんど板書をしていませんのでこの様な結果と思う。
- ◎ 階段教室であり、板書部分が見えないあるいは、教卓の陰になり、見にくい学生が多々いた。（前のほうにも座っても教卓が邪魔となる）教室の問題が大きいと思われる。
- ◎ 少し早口なのは反省しています。又、耳が少し遠いのも気にしています。
- ◎ 理解をゆき渡らせることの難しさを痛感する。
- ◎ コンピュータを使った実習なので、ビデオなどは使わなかった。板書が分かりにくいのは反省点だと思う。
- ◎ 参加者の理解にあわせて内容を変更したからだと思います。

- ◎ 私は少々早口なのでそのためか？
- ◎ 学生の全体的な水準が低いように感じることもあるので更にわかりやすい授業を心がけたい。
- ◎ 板書はかなりの量をもって使用しているが、ビデオなどの視聴覚機材などは使用しなかったからこの評価になったとも考えている。
- ◎ 過去の授業評価でも同じ回答結果であった。ただし、昨年度の評価結果に比べて 0.3 点上がっている。前述のように、個々の学生に対応した指導に当たったことの成果と考える。
- ◎ 毎回、問題になりますが、もし高すぎる、遅すぎるということであれば、卒業後に社会で要請される水準からみて、決して高いところに設定していません。進行速度についても現状の授業時間からは必要事項を網羅する意味で、ぎりぎりのところですが、もし、逆の可能性、もう少し水準を上げ、速度も早くということであれば、対応はむしろ容易ですが、このアンケートでは前者であると受け取っています。
- ◎ 4 の質問項目の結果と同じ。レベルが適切でないから、理解度にあわないのだろうと思う。
- ◎ 科目によって異なるが、全体的にこれになるかと思われる。雑務が多くて思うように教材が作れない現状にあるが、出来るだけ「視覚」に配慮した工夫をしなければとは思っている。教員にもパワーポイント等の講習があるとうれしい。
- ◎ 当該授業（必修、概説的内容）の性格柄、毎年懸念している事項である。授業内容を削減することが難しい一方で、学生の学力、理解力が低下しつつあるため説明に時間がとられ、予定通り進行させることが困難である。教科書の内容等をプリント等で補っているが、このあたりをさらに工夫する必要がある。
- ◎ 低かったとは言ってもいずれも「4.4」の評価で学科平均よりは高く、それほど低い評価ではないと思っております。学生の理解度に合わせた進め方、ということでは中には理解しきれていないと思う学生もあり、こうした学生にどう対応するかはもう少し考える必要があると思います。
- ◎ 学生数も少なく、静かな雰囲気なので声が十分に届くと思いき、マイクを使用していなかったが、聞き取れなかったかも知れない。来年度は、マイクを使用したい。
- ◎ 何度もこの欄で書いていることだが、1 と 2 は両立不可能に近い。矛盾した設問設定である。今後ともこのスタイルが続くのであればシラバスをあいまいな書き方にするしかないと思う。
- ◎ テキストがよく出来ていたため、板書はたまにしかしなかったもので、こういう結果になった。
- ◎ 1, 2 年生対象の授業なのでどのレベルに合わせるのかが毎年難しくなっている。
- ◎ 上記は高ポイントの点数と 0.1 ポイントの差なので大体満足してもらえたと思う。
- ◎ 適当だと思う。(4 以上の評価)
- ◎ 気をつけようと思う。
- ◎ 上記と同じで、変化が乏しいということかも知れない。
- ◎ 授業中の質問は全くありません。授業終了時に教卓に質問に来る学生は、丹念すぎる位に答えてますが…。
- ◎ 特にコミュニケーション英語は、日本語コミの学生 40 数名の授業でレベルがかなり多様で、理解度にあわせて授業するのが大変でした。
- ◎ 実習中心で、配布プリントが直接手本となり、あまり板書はしないので、このような結果になったのか。

- ◎ 最新のニュースを毎回取り入れ解説していました為、概要オプションともいうべき内容が多くなったのではないかと考えます。
- ◎ 1科目「概論」授業のみ、3.7の評価であった。広範なテーマ全てに理解を求めるのは難しく、妥当な評価であろう。
- ◎ 比較的、多人数の科目で、講義形式の授業なので、学生の質問に十分対応する余裕が時間的にも取れなかった。毎回出席カードに感想などを記入してもらっているので、次の授業にはそれに答えるように心掛けて来たつもりである。
- ◎ 板書はかなりの量になることが多いが、消さずに残しておきたい場合でも黒板のスペースが少ないため消さざるを得ない場合がある。出来れば黒板の大きな教室での講義をやらせていただければと考えている。
- ◎ 気をつけてはいたが、時として早口になってしまうことが、聞き取りにくかったと反省している。
- ◎ 2クラスのうち一方は項8,9が3.8で最も低い。他の1クラスは項8,9が4.3。同じ内容でも取り方がクラスによって異なる。
- ◎ 学生の理解度や関心に応じて授業計画を変更することも必要である。
- ◎ 学生の興味によって、話題を発展させるので授業計画から離れることがある。しかし、それほど低いわけではないので、この進め方でよいと考えている。
- ◎ 評価の幅が4.5~4.9のうちの4.5なので講義概要・計画にそって進められたものと考えます。
- ◎ 全体を通し、視聴覚教材等の使用は少なかったが、必要に応じ今後も考えていくつもりである。
- ◎ 学生に理解できるよう、ビデオの活用や校外現場実習等も実施しているのでこの評価はやや不満。
- ◎ パワーポイントを利用して授業を進めましたが枚数が多すぎたため、ノートも取る時間が少なくなったと思われます。パワーポイントの内容、枚数に考慮が必要と思われます。
- ◎ 板書はキーワードとその関係性など図的に心がけたが、動的でノートテークしやすいものではなかった。整理されたものとはいい難い。
- ◎ 講義概要に沿うことプラス新しい情報提供があったのでそうした評価になったと考える。
- ◎ 6の設問と同点の評価。大人数の受講者がいる講義だが、さらに学生の意見を吸いとれるよう心を配りたい。
- ◎ 5以外は同点でした。学生数が少なかったので評価にバラツキがでなかったのだろうと思います。
- ◎ 予習や復習がされておらず、学生の理解が足りない面が多く見られたので、その点での改善を学生側からもしてほしい。
- ◎ 非常勤の場合は、学生1人1人の能力について、把握しきれてないので、授業の中で確認していく必要がある。
- ◎ (5,6が同点)評価が低いというより〔1〕と0.1点しか違わないので、適切な回答にはならないかもしれないが、6について、学生がそもそも質問してこないで、学生らにここの評価をさせるのはどうかと思う。
- ◎ 学生の能力、理解度は本人の学習意欲の差がそのまま反映しているなーというのが正直なところで。勿論、反省もしていますが、分布としては思ったより良かったのでほっとしています。
- ◎ 「講義概要通り授業を進めたか」のスコアが、若干落ちたのは、受講生が少なかったことで、講義中に発表をしてもらおうなど、実施する予定がなかったことを導入したためだと思う。

◎ もう少し具体的に分かりやすく講義していかなければならないと思います。

3. 「授業の内容について」の中で、学生の評価がもっとも高かった項目は何ですか（1つだけ○をつけて下さい）。

1. 授業内容のレベルはあなたにとって適切でしたか
2. 授業内容の量はあなたにとって適切でしたか
3. この授業を受講して、あなたの興味や関心はふえましたか
4. この授業を受講して、新しい知識あるいは技術を得ることができましたか

3-① 学生のこのような評価について、あなたはどのように考えましたか。自由にお書き下さい。

◎ 復習用に授業内容のポイントを記したプリントを配っているのも、それがある程度功を奏していると言えよう。

◎ 1つの作品を制作するのみではなく、世界的な広がりや歴史的な深さの内に残ってきた文化として理解してもらいたいと考えているので大変うれしい。

◎ 学生が主体的な取り組みをしたため。

◎ 学生の日常と関わりを持たせることが重要だと思う。

◎ それを目標として授業を進めているので、評価をうれしく思う。

◎ 授業の目的に合う効果が出ていると思う。

◎ 実技科目なので、今後もこの様な評価が得られるよう努力します。

◎ 常に最新の情報を取り入れた授業を心がけていることが評価されたと思う。

◎ 教科書以外にも関連がある Topics を随時紹介した。

◎ 授業の内容は学生にとって、初めて聞くことばかりなのでそれをできるだけ身近に感じるよう、同じ内容を何度も言い方を変えて説明するなどの工夫をしたのが良かったと思う。

◎ 平均が 5.0 だったので、学生がよく理解し自分のものとしてくれうれしく思います。

◎ より多くの学生に授業を受講してもらいたいと思う。

◎ 経済という概念を英語テキストを通じて理解させたことがこの評価につながったと考える。

◎ 昨年度の評価結果に比べて 0.3 点上がっている。アンケート項目 2 で「学生の理解度にあわせて授業が進められた」と評価した学生が増した分、「知識を得ることができた」と実感した学生も増えたと考えられる。

◎ 2-①に記しましたが、2年生対象で、この水準の授業で新知見を得られたと学生が感じていることは、まだ基礎力が不足だといえます。その意味で進行速度をあげることは可能かもしれません。

◎ 「新しい知識あるいは技術を得る」というのは当然のことなので、できれば「興味や関心」がふえたという項目が上に来るようにしたい。

◎ 科目によって、差があるが、概して上記の項目が多かった。授業の毎時間にその日のテーマを設けるようにはしているので、その点が認められたのだろうと思う。科目によっては、3が高いものもある。

◎ 学生が授業内容に関心を示している様子がうかがわれ、よかったと思う。

◎ 授業の内容が企業活動に密接した内容であるので、学生にとっては初めて聞く世界のことであり、

その点が評価されたと思います。この点については今後も企業のホットな話題をさらに授業に取り込んでいきたいと思っています。

- ◎ 高齢者・障害者を含むすべての人にとって使いやすい物作りの考え方について教えられることができて良かったと思う。
- ◎ 学生にまず知的好奇心を広げてもらうことが眼目の授業なので、こういう評価になったことはねらい通りである。
- ◎ 内容が初めてのことばかりであったので興味をひいたものと思われる。
- ◎ 私の授業は新しいノウハウを教えることなので、こういう結果が出たが、より工夫して分かりやすさを深めたい。
- ◎ 適当だと思う。
- ◎ 毎回の授業アンケートの様子をフィードバックする形にしたためかと思う。
- ◎ 具体的な目標のある授業なので。
- ◎ 服の文化史なので、女子学生は（その人にもよりますが）関心があるのでしょうか。
- ◎ 社会人としての自覚、就職活動を早めに行うなど、相談があった事から、関心があったと判断しています。
- ◎ 3, 4の評価が類似している。授業の方針としてこのようなことを目指しているのだから、目的は達せられていると判断。
- ◎ 新しい知識が得られるよう工夫して来たつもりである。これをもとにさらに興味を持ち知識を広げ深めるように方向づけられればと思う。
- ◎ 他の科目と違い、比較的あまり聞いたことのない教科内容であったことと授業と実務で今現在行っているニュースを取り上げ説明していたのが、学生にとって面白かったということだと思う。
- ◎ 満足である。
- ◎ 1つのクラスは項15が4.1。一方は項14、15が4.4、項16が4.5。
- ◎ 授業を通して、1つでも興味や関心をもち記憶に残ればよいと思う。
- ◎ 授業において、最も重要視している点であり、4につぐ高さだったので手応えを感じている。
- ◎ ビジネスコミュニケーションは”わかる”から”できる”への変換であり、行動内容にむけて実社会に生かせる内容が提供できた。
- ◎ 就職を控えた学生に、実践的知識を学んでもらうことができたのは喜ばしい。
- ◎ 生涯にわたる学習の重要性を新しい情報も含めて授業を進めた。将来、社会に出て、一生涯、「学ぶ」ことの習慣を身につけてもらいたい。
- ◎ できるだけ最新の情報や情報源を紹介するとともに基本的技術の習得を目指して授業を進めた結果と考えます。
- ◎ 毎回フィードバックシートを用いて、なるべくその要望に回答する形ですすめたので、学生の関心に沿えたと思う。
- ◎ 学生にとって関心の高い内容を、できるだけ教師と双方向のコミュニケーションを取れるようにしたことや少人数なのでレベルに合わせる工夫ができたことによるのかもしれない。
- ◎ 授業を通して児童文学の魅力を少しでも理解してもらうのが目標なので、良かったと思う。
- ◎ この分野に関心を持ってくれたのは喜ばしいと思います。

- ◎ 授業の中でも、私自身、知識・技術の習得につながるよう、心がけている。
- ◎ 見学、実習がそう感じさせたのだと思います。
- ◎ 何らかの（＋）になることが出来てよかったと思う。
- ◎ これは素直に良かったと思っています。今後の人生に役立つ機会があれば嬉しい ーが正直な感想です。
- ◎ 受講生が少なかったので、多人数に対する講義形式から少人数に対するゼミ形式に講義を切り替えた点が、受講生に評価されたと思う。
- ◎ さらに、いろいろな知識を授けていきたいと思います。

4. 「授業の内容について」の中で、学生の評価がもっとも低かった項目は何ですか（1つだけ○をつけて下さい）。

1. 授業内容のレベルはあなたにとって適切でしたか
2. 授業内容の量はあなたにとって適切でしたか
3. この授業を受講して、あなたの興味や関心はふえましたか
4. この授業を受講して、新しい知識あるいは技術を得ることができましたか

4-① 学生のこのような評価について、あなたはどのように考えましたか。自由にお書き下さい。

- ◎ 教材によって大きく変化するので教材の選択に慎重を期す必要があろう。
- ◎ 年々、学生の授業消化力が低下している。
- ◎ 学習計画の内容が少々多いことは感じているが、1つの作品として完成した際の達成感を味わうことも大切と考えている。
- ◎ 実習課題の完成度を高めようとしたことによる。
- ◎ 宿題の量が多い（毎回課している）。レポートのほかにテストもあることが不満となっているが、最低限のものを身につけてもらうにはやむを得ない（必要）と思う。
- ◎ 少し難しいぐらいのレベルで、高等教育としてはふさわしいものだと思う。その反面、どうしても授業についてこれない学生もいるが、仕方がない。簡単な課題を出しても出来ない学生もいる。
- ◎ 検定取得を目標にしているため、どうしても授業での量が多くなってしまいます。学生にもこの点、説明し理解してもらえたいと考えています。
- ◎ 「適切」であるというのが丁度よいということであるとすれば、適切でないということは多すぎるか少なすぎるということの意味している。あまり適切な質問ではないのでは…。ただ、今回のコメント対象科目では、改正点が多く、理解するための積み上げがない状態で、学ぶ状態のためと思われる。
- ◎ 能力の差異に気を遣っては教師も苦労します。
- ◎ 学生間の格差があり、新しい技術用語や専門用語を理解させるのは難しいと感じた。
- ◎ 情報をたくさん提供したのですが、一部うまく伝わっていなかったのかもしれない。
- ◎ 授業内容のレベルをもう少し低くした方がいいのかと思う。
- ◎ 経済という概念を英語テキストで理解させる試みに若干ついていけない学生が居たと考えている。
- ◎ 自由記入欄に「難しい」と記されていることから、授業レベルが一部の学生の学力水準を越えてい

ることがわかる。しかし、専門職養成を目指している以上、専門職に要求される水準に学生を到達させることが目標となるので、学生の学力水準に合わせられないのが、授業をする側にとって苦慮する点である。

- ◎ 毎回この項目が低いのは残念。できるだけわかりやすい授業をしようと思っているが、結果的には難しすぎるようである。
- ◎ 科目によって異なるが、全体的にはこれだろう。一部1の方が低いものもある。量はおそらく多めののだろうと思われる。学生の学力低下に伴って、消化不良気味かもしれないが、量が適切であると思われるほど、スカスカの授業はしたくないので、塩梅が難しい。
- ◎ 2で回答したように、授業の性格上難しい問題だと感じている。しかしながら、ある程度の優先順位を設けて単元によっては自習やレポートに置き換える方法を検討したいと思う。
- ◎ レベルについては企業で実際に行っている内容を取り込んでいたので難しいと感じるのはある意味当然だと思います。量についても90分の授業でかなり盛り込んだ授業になっていると思います。ただし、これらはこれから社会人になるための訓練の意味もあり、やや高めのレベル、多めの量については今後もこのスタンスで続けたいと思います。ただし、このことが社会人になるための訓練である、ということは学生に理解させることが必要だとは思いました。
- ◎ 限られた時間の中でのなるべくいろいろなことを教えたいと思うあまり、量が多くなり過ぎたと思う。来年度は重点的に少し絞っていきたい。
- ◎ 全部同じ評価
- ◎ 知識や技術を教えることが主眼ではない授業科目だったので、いたしかたない
- ◎ 選択科目なので、レベルの高低の差が大きかったと思う。難しいもの、易しいものを両方やったが、難しいものが印象に残ったようだ。
- ◎ やはりレベルを低くすべきか。
- ◎ 1, 2が同ポイント
- ◎ 4の評価なので適当だと思う。
- ◎ 毎回の授業アンケートによるフィードバック（次の授業へ）が効果をもたらしていると思う。
- ◎ 学科での専攻内容に特に合わせているわけではないからだと思う。
- ◎ あまり関心のない学生にとっては多過ぎる量かとも思います。強い関心をもつ学生もいるので、たくさん話したい気持ちもあります。
- ◎ 学生のレベルがまちまちで、1年生と2年生（フランス語を1年次に既習）でもレベルが異なり、誰に照準を合わせたらいいか難しいのは事実。第2外国語ではなかなかうまくいかないと思う。
- ◎ 技術を取得する授業で、学生もそれを希望している。ある程度の量はやむを得ないものとする。
- ◎ 1, 2年合同なので、意識の違いが出たように感じます。たった1年ですが、大きく成長しているように2年生に感じました。
- ◎ どの授業についても「難しかった」という評価が2～3名いる。今回評価の3科目の平均は4.1なので、こんなものかと思う。
- ◎ おそらく量が多過ぎたという意味であろう。しかし、宿題や復習を要求していないのでこれくらいは消化して欲しい。
- ◎ 授業内容はある程度絞ったつもりであるが、一般的な講義時間より貴校での時間数が数時間少ない

のは事実です。しかし、次年度はさらに絞り込んでより適切な量にしたいと思います。

- ◎ レベルが高すぎたのか、あるいは低すぎたのか不明なため、次回アンケートでは改善を希望する。
- ◎ 1クラスでは3.6、1クラスでは4.1。クラスによって評価が異なるが、この科目は従来通年で行う内容であるが、半期では限界がある。学生にとっては、未消化の部分があるのは理解できる。
- ◎ 抽象的な問題提起に対して適切な答えを出せない学生が多いと思う。
- ◎ 低いといっても平均よりは高いので、まあ適切であったと考えている。
- ◎ 後期の半期12回はあまりにも少なく、提供したいことは山のようにあるのに、すべてを提供できないジレンマに通年あるといいなあと願っています。
- ◎ 強いて選ぶと「2」であるが、特に低くなかった。
- ◎ 半期（2単位）の授業では、教科書の半分しか消化できず、学生に伝えたいことが不十分で終わった。
- ◎ 学生の興味や関心の対象を十分に把握しきれていなかったかなと考えます。
- ◎ レベルがやさしすぎたのか、高かったのかが不明であるが、おおかたは適切レベルと判断していたが・・・。
- ◎ 少し盛り沢山になる傾向がある。
- ◎ 2、4の設問と同点評価。レベルが高すぎたのか低すぎたのか、授業内容の量が多いのか少ないのか判るようなアンケートの設問だと嬉しい。
- ◎ 基礎的部分をじっくりおさえる必要があると反省しています。
- ◎ 学生のレベルの差がかなりあり、量を多く感じる学生があったと思われる。しかし、授業をその人たちに合わせてしまうと遊んでしまう人が出てしまい、レベル・量については難しい事を実感している。
- ◎ より多くの知識を得て欲しいと思う。資料などを多く配布してしまうが、学生はそれを活用しようとは考えないのかもしれない。
- ◎ 時間数の割に盛りだくさんのことを入れていたか？という思いもあるが、他の項目と点の差があまりないので特にこれが“悪い”と言うこともないように思うが・・・。
- ◎ 少ないという意味なのか多いという意味なのか、わかりにくいですが、たぶん後者なのだろうと思いますが・・・。
- ◎ 学生の理解力に合わせて、講義していかなければならないと思います。

5. それでは、アンケートの結果全体を見て、あなたはどのようなことを感じましたか。自由にお書き下さい。

- ◎ 相変わらず話し方に問題がありそうなので、「わかりやすさ」を心がけて授業を行ってみたい。
- ◎ 毎年、前期に比べて後期の評価が悪化する。意欲のある学生は前期受講の傾向が強いようである。
- ◎ 大体において、私が考えている状態だと思う。私語については、講義中以外の作品を制作する際の学生間の相談などは可としている。これが過ぎないように、始と終の礼など、けじめをつけている。
- ◎ 実習計画の立案で工夫が必要である。

- ◎ 学生に迎合するか、講義レベルを保つのが難しいところであると思う。
- ◎ 前期は理論、後期は演習中心なので、学生の努力が後期の方に顕著に出て、それがアンケートに反映されているように感じる。
- ◎ 全般的には、授業の内容に満足してもらっているようで安心した。
- ◎ 全体的に予想していた結果でした。実技を身につけるには、どうしても課題の提出など多くなりますがその点は学生にも納得してもらい目標達成にむけて努力したいと思っています。
- ◎ 学生は、自己に対しての評価は甘く、教員に対しては厳しいことが見受けられた。
- ◎ 例年と変わらない傾向であると思う。
- ◎ 声を大きく、はっきり話すこと。私語は注意しているにも関わらず自己申告で多かったのでやや驚いています。
- ◎ 授業内容の設定についてあらためて考えさせられる。レベルについてはある程度保持しなければならないと考えている。
- ◎ 答える学生達が、きわめて真面目に書いていると感じた。したがって教師はこの結果を冷静に受け止め、よりよい授業を目指すべきだと思う。
- ◎ 楽しく有意義に受講してくれたのはたいへんありがたい結果です。
- ◎ 授業に満足した学生が8割に達しているので内容としては適当なのかと思う。大変不満な人が7%と出ているが何が不満なのかを書いてもらえたらよかった。
- ◎ 評価者のレベルをもって被評価者の何を評価させようとしているのか、単に面白い授業などが高い評価につながるのかなど疑問を感じる。
- ◎ アンケート実施科目の中から相対的に評価の低い科目について回答した。学生の授業評価の集計結果は今回も過去のものとは変わっていない。しかし、評価の平均点は上昇した。このことは、昨年度までの授業評価結果の改善策「個に対応した指導」を実行してきた成果と考える。
- ◎ 2-①に記しましたが、この評価からもう少し授業内容の水準を上げるべきだと思っています。学業にしても、社会生活にしても、容易く物事が得られないことを学生生活の間に学んでほしいと考えます。知的貯蓄として、もう少し多くの知識を詰め込んで卒業してもらおうように努力します。
- ◎ 授業のやり方についてはそれなりに努力しているが、評価の方はそんなに上がらない。もっと工夫が必要なのだろうと思う。
- ◎ どれも同じような回答というのではなく項目により回答がさまざまであったので、一つ一つ考えながら回答してくれていることが分かった。2、4に回答したようにその性格柄さまざまな工夫が強いられる授業であるため、試行錯誤を繰り返しているが、今回は自由記述欄に「学生にわかりやすく説明しようという姿勢が見られた」と書いた学生がおり、うれしく感じた。
- ◎ 基本的にはすべての項目で学科平均よりは上であったのでホッとしています。授業でも学生が企業活動について興味を持ってきていることは感じていましたので、今後も内容の充実についてますます努力したいと考えています。
- ◎ 今年度が初めての講義であり、学生がどのように受け止めていたのか気になっていたが、今回客観的な評価を受け参考になった。授業中の私語が気になっていたが、他の授業でも私語が多く見受けられ、多少安心した。評価項目として、生徒が市販品の売り場でのユニバーサルデザイン調査を行い、興味を得たようで成功だったと思う。しかし、全体評価では反映されてなく0となっており、

奇妙に思う。

- ◎ シラバス通りきっちりやっても学生の中にはそれを理解できない者がいるため、どうしても数字が悪くなる。
- ◎ こちらの努力の割には評価が低かったようだ。余りに学生のレベルに合わせて易しすぎる授業をしたのがかえってあだとなった。早口の時があったようなので今後はゆっくり話すように心掛けたい。
- ◎ 各学科の平均点のほうが参考になる。
- ◎ 学生の意見や感想は授業中に知って講義に反映させたいと思っているので終わってからのアンケートで知ることに意義があるのかと思う。
- ◎ 学生の評価は適当だと思います。これからも満足してもらえよう努力します。
- ◎ 視聴覚教材も使用する工夫をしてみようかと思った（変化をつけるため）。「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計が10%に満たないので必修科目としては上出来と考えてはいけないものだろうか。
- ◎ 学生それぞれの関心の在り方によって、さまざまに評価されるのだと思います。自分なりに今後も努力して、良い授業にしたいと思います。
- ◎ ある程度妥当な評価だと思いましたが、極端な評価はあまり信用できないかな…と。
- ◎ 社会に出ても、とまどう事なく前進してくれると思います。ぜひ役立ててほしいものです。
- ◎ 前期授業評価の結果から反省点もあった。後期は改善を試みた部分もあり、成果があった。
- ◎ さらに内容を改訂し、よりよいものにしたい。
- ◎ 私が担当させて頂いている講義につきましては、何日か休むとそこから先の理解が難しい内容です。したがって遅刻してきた場合も授業についてくるのがかなり厳しい状況になります。授業内容レベル、量について満足していない何名かの学生はこの点が問題ではないかと思われます。
- ◎ 評価に項目ごとの差がほとんどない。学生が真剣に回答していたのかどうか判断しにくかった（高い評価も低い評価も）。
- ◎ 授業は私語も少なく、レポート等も非常に熱心にまじめに取り組んでくれ満足している。又教材等も含め授業の方法も学生に支持されたと考えているので、今後もこの方法を続けたい。
- ◎ 昨年、一昨年に比し、全般的に学生の評価が低く、指導力の無さを反省致しました。
- ◎ 同じ内容、やり方をしてもクラスにより受け取り方が違う。
- ◎ 全体的に見て、得点化された項目化の差や、平均との差があまり出ていないため、また有効回答の母数団が小さいため、講義の問題点を発見しにくいという印象。このことは、実践短大に限らず、本務校や他大でも同様の傾向となっている。ただし、“1～5”のスケール分布を「思う」「どちらとも言えない」「思わない」の3スケールに直すと、いくつか問題発見的に参考になると思われる。
- ◎ 11と16が高かったので、熱意や意欲は伝わったと思う。総体的に学生から高い評価を受けたので、素直に喜んでいる。
- ◎ 学生たちと打てば響く楽しい講義が展開できたので満足しています。来年もよりよいものを提供します。
- ◎ この授業の目指すところを、学生に楽しく学んでもらうことができたと思う。
- ◎ 私が担当する他の大学（科目が違う）の学生にやる授業評価でも同じ傾向の回答が出ています。したがって、アンケートの設問等は適切なものと思います。できれば、平均点を出すとき、①専任の

教員（教授・助教授）と②非常勤講師の評価を別々に出していただくとよいと思います。

- ◎ 今年度から非常勤講師として授業を担当することになりましたので、おおよそ妥当な評価だと考えます。その意味で反省点を改善したいと考えます。
- ◎ 学生は好意的に判断していると思う。アンケートの意味・意義についてどの程度自覚的であったか（学生が）。この点が知りたいし、その意義を自覚してもらう必要がある。（責任をもって）
- ◎ 授業内容の意図するところは伝わっているように思う。極端な評価はなかったのではほぼ全員とよいコミュニケーションがとれていたと考える。
- ◎ 大体、全体の平均と同じような評価だった。実短の学生は講義や教員に対して好意的だと思う。
- ◎ 極力ていねいな授業を心がけたつもりですが、その姿勢自体は評価してもらえたようですが、内容的な習熟度は高くとは言えないので、今後改善していきたいと思います。
- ◎ 学生の客観的評価を受け入れ、学生に満足してもらええる授業を運営していこうと思う。自分自身、結果は妥当であると感じているが、学生側の努力・改善も必要であると思う。
- ◎ 学生1人1人に意欲的に取り組んで欲しいと思い、学生が予習してきて学生同士で考えさせる授業にしようとする、負担が大きいのか、履修を取止めてしまったり、出席しなかったりとこちらの意欲にうまく乗ってくれないところがあり、その度合いが難しい。
- ◎ 前述したが昨年度と同じかそれ以上の内容の講義なのに評価が違うとは。学生の受け取り方、質などが違うのかと思えてきた。他校でもかって、同じ講義を、同専攻、同学年なのに1限と2限の学生の評価がかなり違っていたことがある。意欲のある学生だと授業評価は全体的に高くなる傾向があり、教員側だけの問題ではないような気がしている。
- ◎ 授業レベルを上げたい気持ちともう少しゆるやかにすべきかは少し悩んでいる点です。学習意欲そのものに格差があるので、全員に満足感を得てもらうのは無理だとも思っています。学生自身の甘えやわがまま、気分も入っているなーとは感じました。
- ◎ 今回は、昨年度より受講生が大幅に少なくなり、2人ということもあり、「教員の授業の進め方」と「授業の内容」について、学生の評価が高い方に偏った。従って、昨年度の授業評価のスコアとの比較ができないのが残念である。ただ、2人の受講生は、今回の授業に満足してくれたようでよかったと思う。
- ◎ 学生の学力に合わせ、分りやすい授業内容でなければならないと思います。

6. アンケートの結果から、この授業について今後どのような点を改善しようと考えましたか。特に無ければ、無記入で結構です。

- ◎ 授業のレベルを少し下げて初歩的なこと、基本的なことをもっと多く加味しながら、授業を行っていこうと考えています。
- ◎ 参加させる（作業させる）方法を考えようと思う。
- ◎ 今年から授業日数が1日増えたので、余裕が出る分、もう少し丁寧な（きめこまかな）授業ができるようにしたい。
- ◎ 興味をもって意欲的に授業に出ている姿がうかがい知ることができたが、理解度が低く、ついてこられない学生もいることがわかった。何とか救いの手を差し伸べたが、効果的な方法が思いつかない

い。

- ◎ より満足のいく授業を展開していきたいと思っています。
- ◎ ゆっくりはっきり説明する。→くたびれますが。英語の発音や Reading には自信がありますので、もっと厳しく学生を指導したいと思います。
- ◎ わかりやすい授業が出来るように更に工夫していこうと思う。
- ◎ 学生の基礎学力、理解力がそれぞれ異なるので、今後も授業に加えて個に対応した指導を実施していきたい。積極的に質問に来るような学生はよく理解できている学生が多く、理解できていない学生ほど質問には来ない（理解しようとする努力をしない）のが常である。17年度は昼休みを利用して、理解できていない学生を呼び出し集中的に補講してきた。これは誠に根気のいる仕事であった。しかし、わかることが興味をもつことの始まりと思うので今後も根気よく続けていきたい。
- ◎ 前項であげたように、次年度は授業内容の水準、進行速度をあげることにしました。学生はついてきてくれる筈です。
- ◎ 読みやすく、判りやすく、よく整理された板書を心がけたい。
- ◎ 教材の工夫は、常に行いたいと思っているが、雑務が多くてなかなか厳しい状態にある。年度当初は張り切って始めても途中で資料が出せなくなった例もあった。また、その方法についても、講習会等支援が受けられると助かるのだが、何か良い方法、支援体制の構築はないものだろうか。
- ◎ 学生の学力等が二極化あるいは多極化する中で、特に必修科目についてはどこに焦点を合わせて授業を進めるかが問われるようになってきている。（8でも触れる予定だが）半期の授業を終えるのを待たずに、授業期間中に学生に直接意見を聞きながら、改善を進めていきたいと思う。
- ◎ ほとんど毎回のように復習の意味も含め、レポート提出を求めたので生徒には負担だったと思う（受講生が次第に減少した原因？）。来年度は負担とならないようなレポート提出を考えたい。生徒が講義の授業だけでは単調になるので、できれば実習、見学を取り入れていきたい。
- ◎ 話すスピードを少しゆっくり目にする。雑談は極力控えたい。
- ◎ 毎年、毎回、毎日、「カイゼン」が必要。
- ◎ 学生のレベルを見ながら方法を考える必要がある。
- ◎ ①学生に予習・復習の習慣を付けさせる努力が必要。②実習と成果物のチェック・評価（個別に）を心掛ける。③教員・学生間で互いにフィードバックのある授業の工夫。
- ◎ 授業内容に対する興味はかなり持っているように思いました。それに対応するため、量的な問題を検討することと、副教材ないし配付資料についてさらに検討を要すると感じました。
- ◎ 学生の予習・復習がきわめて少なかったが、旅行関連の実務を主とする授業の性格上止むを得ないかもしれない。
- ◎ このアンケートで例4「」の中で、1, 2, 3, 4、のこれらは集計結果の 12, 13, 14, 15 に統一していただいた方が良いかもしれません。
- ◎ 学生自身のカテゴリーの“意欲的に取り組んだか”について“どちらとも言えない”の割合が高くなっている。授業内容や満足度ではそれほど評価が低くは無いかを考えると、おそらく学生自身が抗議に参加したり、学生自身の課題発見・取り組み型のスタイルをもう少し導入してもよいのではないか、と思われる。次年度に試みた上であらためてアンケート結果を見てみたい。
- ◎ より現実の社会と時代に合わせたものをフィットさせて提供しましょう。

- ◎ 考える量や授業のスピード、演習の進め方と学生の理解度、そのスピードを十分に勘案し、授業を進めていくことが重要だと感じました。パワーポイントの文字の大きさや情報量を念頭に強調すべきポイントを明確にしていくことが大切であると考えます。
- ◎ 予習や復習は基本的にはそれほど必要がないのだが、いかに授業で得られたものを活用するかを考えていきたい。
- ◎ 1時間半の授業で見学や実習を入れるのは大変なのですが、できるだけ、そういう時間を取り学生の生の反応を見ながら授業がしたいと思います。
- ◎ ただ、逆にいえば、どんな学生でも満足できる授業を考えると、かなり難しいが、“臨機応変”がポイントともいえる。しかし、その学生の質を見極めるには、授業がある程度進んでからなので半期の中にそれをするのは厳しいところもある。これこそ今後の課題である。
- ◎ 授業レベルをもう少し下げた方がベターかもしれないとは思っています。専門的知識やその手がかかりを与える前に、基礎学力（読解力）をもう少ししていねいに高めることが出来る教材も混ぜようかと考えました。
- ◎ 具体例を示しながら教えることはもちろん、そのつど学生に質問しながら授業を進めることが必要ではないかと、思います。

8. 今後の「学生による授業評価」について、何かご意見がありましたらお聞かせ下さい。

- ◎ ①学生は「評価ズレ」してしまっている。②「学生が教師を評価する」ということ自体主客転倒の考え方ではないか。学生に「学生としての立場」を見誤らせる（あるいは誤解させる）結果になっているように思われる。
- ◎ 実習主体の授業での評価基準があればと思います。
- ◎ プラス評価とマイナス評価のグラフどりが一部混在している。一例. 私語が多いのはマイナス評価だと思うが、グラフやポイントでは高くなる—これでよいのでしょうか。
- ◎ 自由記入で素直な意見を聞きたい。
- ◎ 授業展開の参考になるが、学生もアンケートになれてしまって、機械的にマークしているような気がします。
- ◎ 得点（適切かどうかは？）が高い程、良い評価となる質問形式に統一すべき。
- ◎ 教師の（教え方）のどの点が良かったか、良くなかったかを具体的に答えさせる項目が必要かと思います。
- ◎ 多くの学生は、授業を熱心に受け止めている。格別熱心な学生がいることも分かり楽しみであった。
- ◎ このままで良いと思う。
- ◎ 記名式で理由なども書いてもらえるようにすると更に改善点がはっきりすると思う。
- ◎ 授業評価そのものにどのような意義があるのか、ほかの大学の一部が実施しているから実施するのかなどもう一度検討すべきであろう。止めた大学もあると聞いている。
- ◎ アンケート内容の見直しの時期になるのですが、今までの評価結果が活かせるように、対比可能となるよう工夫してください。教員アンケートについて、質問には学生アンケート用紙のナンバーを使っていただきたいと考えます。たとえば、Ⅰ-①の1.講義概要などの…は、Ⅱ-5講義概要

などの…としていただきたいと思います。

- ◎ この結果から活かせるものを全体で汲みあげた上で、項目の見直しを行っていただき、さらに新しい切り口で学生の評価を見てみる事が出来ればと思う。
- ◎ アンケート項目は改訂されるようであるが、少なくとも講義と演習等で項目を分けてほしい。
- ◎ 6でも触れたが、アンケートによって学生の反応や有益な意見を聞いてもそれをその期の授業には反映させることができないのが残念である。とはいえ、集計にかかる時間を考えればやむを得ない。代わりにこのアンケートの簡易版を用意するか、あるいは担当教員がいくつか項目を選び出席カード等を用いて自主的に評価を聞くなどの方法があろう。委員会に促されなくても積極的に学生の意見を聞いて、それを授業に反映させようという姿勢が、担当教員一人一人に問われる時代ではないだろうか。そのような意味でも、3年間にわたり実施されてきたアンケートには意義があったと思われる。
- ◎ こうしたアンケートにより学生がどう考えているのかが数値としてはっきり把握できるので、授業内容を計画する上でも大変役に立ちます。できれば、さらにフリーアンサーなどの項目もあると生の声も聞けていいのではないかと思います。
- ◎ アンケートが大変参考になりました。今後ともよろしくお願いします。
- ◎ アンケートをしたのが補講の時だったので、出席した学生が少なく、従って熱心な人が多かったと考えられるため、回答に偏りがあるのではないかと思います。さらに、質問を設定しなかった 17、18 についてまで答えている人もいて、まじめに対応しているとは思えないこともあり、アンケートとしてあまり意味をなさないのではないかと感じます。
- ◎ 持ちコマ全部やる必要はないと思う。だいたい似たような結果だからである。3コマで充分だ。問いの内容と答えとがちぐはぐの項目もあるのは是正すべきだ。
- ◎ 半期の授業がほとんどなのでアンケートに時間を取られたくない。
- ◎ 毎時間アンケートを書かされる学生は、アンケート疲れをしているように思う。
- ◎ よく考えずつけているところもあり、アンケートの限界を少し感じている。
- ◎ 人数の少ないクラスと多いクラスだと評価がたぶん違う。成績の良い人と悪い人の書いた評価もたぶん違うと思う。その違いもわかればありがたい。大学によってわかるようなアンケートもある。
- ◎ 期末の総決算的には意義のあることだと思う。
- ◎ 「講義概要などの授業計画に沿って、授業は進められましたか」という問いであるが、期末では「講義概要・授業計画」そのものを覚えていないであろう。アンケート実施時に改めて「講義概要・授業計画」を提示する必要性を痛感する。
- ◎ “やらないよりはよい”程度の評価が本音。評価項目・内容は、授業科目によって変えた方がいい。コンピュータ技術・語学・実技系と理論系は分けるべき。前者の実技系科目で高評価を得るのは容易。
- ◎ 学生も全ての授業でアンケートをやらされるのでマンネリ化し、惰性で記入する傾向が目につく。学生による授業評価の意義を認識させ、誠意を持って記入してくれるように働き掛ける必要がある。
- ◎ 自由記入欄の中から、さらに質問すべき項目を拾い上げることが必要だと思います。アンケートですから同じ内容のものを一定期間やる必要があると思いますが、一部アンケート内容を変えることも大事かと思います。

- ◎ 学生がどの程度まじめに記入しているか不明。短時間で評価するためか、単にフィーリングで記入しているのではないか。
- ◎ 学生のホンネを引き出すためには、自由記入欄に出来るだけ詳しく記入することを学生に促すことが重要だと思います。
- ◎ 授業の進め方について大変参考になりましたので、次年度以降も是非、実施していただきたい。
- ◎ 学生からの評価を何らかの形で受けることは良いと考えている。
- ◎ 学生の意見を聞けるというのは嬉しい。しかし「最も低い評価」も「最も高い評価」も4.2~4.4くらいの間で差が無いので（全体の平均から見ると他の先生方もそうだと思う）、この教員アンケートの質問には答えにくい。このアンケートの設問を再考して下さい。
- ◎ フィードバックとして効果のあるものだと思います。
- ◎ 平均が高い数値でショックもありますが、続けていただきたいと思います。
- ◎ 点数としての比較は（年別）出来るが、具体的にどこがどう面白いのか、または、判らなかったのか、または、何をどう工夫した方がよいのか、具体的な学生のコメントがないと毎年学生の質や態度が違うので、こちらも次年度の参考になりにくいことがわかってきた。（貴校だけでなく、他校でもそう思う）もう少し具体的な聴き方をしてくださると助かります。よろしくお願い致します。
- ◎ 授業評価に関しては、導入の目的や活用方法など様々な議論をする余地が残されているが、授業評価すること自体は、教員の緊張感を保つ上でも有意義だと思う。
- ◎ 毎年実施していったほうがよいのではないか。学生からの具体的な要望も記述されてはどうか。